【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2004-502422(P2004-502422A)
【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2002-507976(P2002-507976)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｃ　13/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　45/90　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　49/707　(2006.01)
Ｃ１２Ｃ　5/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｃ　13/00
Ｃ０７Ｃ　45/90
Ｃ０７Ｃ　49/707
Ｃ１２Ｃ　5/02

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月25日(2008.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記要素（ａ）～（ｃ）を含むことを特徴とする、１種以上の濃縮された異性化α－酸配合物を麦汁またはビール中に直接注入するための装置：
（ａ）各異性化α－酸配合物を加熱する熱源、
（ｂ）各異性化α－酸配合物の流を計量してパイプラインに入れる分配装置、
（ｃ）パイプラインから供給された１種以上の加熱された異性化α－酸配合物を麦汁またはビール中に注入するインジェクタ。
【請求項２】
各異性化α－酸配合物が使い捨て容器または回収可能容器から直接供給される請求項１に記載の装置。
【請求項３】
複数の異性化α－酸配合物から成る２種以上の供給材料から選択的に各異性化α－酸配合物が計量されてパイプライン中へ送られる請求項１に記載の装置。
【請求項４】
麦汁またはビールに注入する前に、濃縮した異性化α－酸配合物を熱水と混合して稀釈する装置または手段をさらに含む請求項１に記載の装置。
【請求項５】
異性化α－酸の総濃度が約５０重量％以上で、異性化α－酸がアルカリ金属塩の形をしており且つ固化を防ぐのに十分な水を含む実質的に均質な流動性樹脂状の異性化α－酸濃縮物の調製方法であって、下記の（ａ）～（ｃ）の段階を含むことを特徴とする方法：
（ａ）遊離酸状態の濃縮された異性化α－酸配合物を作り、
（ｂ）上記異性化α－酸配合物を加熱して粘度を下げ、
（ｃ）異性化α－酸の酸度の少なくとも７０％を中和するのに十分な量の飽和状態または

ほぼ飽和状態の水酸化アルカリ金属水溶液を激しく混合しながら加える。

【請求項６】

段階（ｃ）の前、途中または後に、水を加える段階をさらに含む請求項５に記載の方法。

【請求項７】

アルカリ金属がカリウムである請求項５または６に記載の方法。

【請求項８】

請求項５～７のいずれか一項に記載の方法で調製された濃縮された異性化α－酸配合物であって、アルカリ金属の量が生成物を水に溶解して異性化α－酸の濃度を約２重量％にする時のｐＨ値を５～１２にするのに十分な量である異性化α－酸配合物。

【請求項９】

異性化α－酸がテトラヒドロイソ－α－酸であるか、イソ－α－酸とテトラヒドロイソ－α－酸の混合物か、ρ－イソ－α－酸とテトラヒドロイソ－α－酸の混合物である請求項５～８のいずれか一項に記載の方法で調製された濃縮された異性化α－酸配合物。

【請求項１０】

請求項５～９のいずれか一項に記載の方法で調製された２つ以上の配合物をブレンドして得られる濃縮された異性化α－酸配合物。

【請求項１１】

請求項５に記載の方法、または、請求項８に記載の配合物、または、請求項１に記載の装置を用いて調製された製品を用いて苦味付けされた麦汁およびビール。